

中学英語


～ とよはし練成塾 ～


目次

講座番号	内容	ページ数	講座番号	内容	ページ数
1	be 動詞	P 3 ~ 7	6	分詞	P 2 6 ~ 2 9
2	一般動詞	P 8 ~ 1 1	7	進行形・受け身	P 3 0 ~ 3 3
3	一般動詞	P 1 2 ~ 1 7	8	比較	P 3 4 ~ 3 9
4	疑問文	P 1 8 ~ 2 1	9	現在完了	P 4 0 ~ 4 5
5	不定詞・動名詞	P 2 2 ~ 2 5	10	関係代名詞	P 4 6 ~ 4 9

この教材の使用方法

<p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中3生 ・英語が苦手な高校生・社会人 ・英語が得意な中学生 	<p>QR コード</p> 
---	---

<p>教材の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホなどで QR コードを読み取り、動画授業を見る ・分かるまで繰り返し見る ・赤下敷きで隠し、完璧に覚える 	<p>QR コード</p> 
--	---

<p>暗記例文の覚え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左ページの赤字部分を見て、文構造を確認する ・5 ~ 6文ずつ覚える * 左ページは赤下敷きで隠し、右ページは紙やノートなどで隠す ・右ページの文(15文)を全て覚えているかどうかを確認する * ストップウォッチを使って時間を計測する 	<p>QR コード</p> 
--	---

第1講座「be動詞」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



英語のルール

英語は(1 **主語 + 動詞**)の順でできている

「主語」とは(2 **～は・～が**)で始まる言葉で、(3 **文の初め**)にあることが多い。

「動詞」とは「動作」・「状態」を表す言葉で、**1つの文に必ず1つないといけない。**

日本語を見て、動詞が(4 **ない**)場合には「be動詞」(5 **am・is・are**)を使う

例題 次の文の主語と動詞を日本語で答えなさい。

1	私は公園で走ります。	主語は(私は) 動詞は(走る)
2	ケンチャーハンを作ります。	主語は(ケンは) 動詞は(作る)
3	私は太郎です。	主語は(私は) 動詞は(×)

例文 「これはペンです」

主語「これは」+ 動詞「be動詞」+ 「一本のペン」に分けると

1	主語「これは」	This	
2	動詞「be動詞」	is	動詞はないのでbe動詞を使う
3	名詞「一本のペン」	a pen	

よって(**This is a pen.**)となる

例文 「あなたは昨日忙しかったです」

主語「あなたは」+ 動詞「be動詞」+ 形容詞「忙しい」+ 「昨日」に分けると

1	主語「あなたは」	You	
2	動詞「be動詞」	were	動詞はないのでbe動詞を使う
3	形容詞「忙しい」	busy	
4	「昨日」	yesterday	

よって(**You were busy yesterday.**)となる

例文 「私は昨日東京にいました」

主語「私は」 + 動詞「いた」 + 「東京に」 + 「昨日」に分けると

1	主語 「私は」	I	
2	動詞 「いた」	was	
3	場所 「東京に」	in Tokyo	
4	「昨日」	yesterday	

よって (I was in Tokyo yesterday.) となる

例文 「机の上に1冊の本があります」

「～がある」 + 主語「1冊の本」 + 場所「机の上に」に分けると

1	「～がある」	There is	「1冊の本」(単数)なのでbe動詞は「is」
2	主語 「1冊の本が」	a book	
3	場所 「机の上に」	on the desk	

よって (There is a book on the desk.) となる

第1講座 暗記例文

1

1	これはペンです。(4) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+名詞「一つのペン」
2	私は太郎です。(3) 主語「私は」+動詞「be 動詞」+名詞「太郎」
3	あなたはエミです。(3) 主語「あなたは」+動詞「be 動詞」+名詞「エミ」
4	この本は面白いです。(4) 主語「この本は」+動詞「be 動詞」+形容詞「面白い」
5	彼らは忙しかったです。(3) 主語「彼らは」+動詞「be 動詞」+形容詞「忙しい」

2

1	私は大阪にいます。(4) 主語「私は」+動詞「いる」+場所「大阪に」
2	あなたは先週京都にいました。(6) 主語「あなたは」+動詞「いた」+場所「東京に」+「先週」
3	机の上に1本の鉛筆があります。(7) 「～がある」+主語「1本の鉛筆」+場所「机の上に」
4	公園に多くの人があります。(7) 「～がある」+主語「多くの人」+場所「公園に」
5	木の下に何人かの女の子がいます。(7) 「～がある」+主語「何人かの女の子」+場所「木の下に」

3

1	彼の部屋にはギターが2本あります。(7) 「～がある」+主語「2本のギター」+場所「彼の部屋に」
2	彼女はクミです。(3) 主語「彼女は」+動詞「be 動詞」+「クミ」
3	あなたは先生です。(4) 主語「あなたは」+動詞「be 動詞」+「先生」
4	私は昨日名古屋にいました。(5) 主語「私は」+動詞「いた」+場所「名古屋に」+「昨日」
5	私は幸せでした。(3) 主語「私は」+動詞「be 動詞」+「幸せ」

第 1 講座 暗記例文

1

1	This is a pen.
2	I am Taro.
3	You are Emi.
4	This book is interesting.
5	They were busy.

2

1	I am in Osaka.
2	You were in Kyoto last week.
3	There is <u>a pencil</u> on the desk.
4	There are <u>many people</u> in the park.
5	There are <u>some girls</u> under the tree.

3

1	There are <u>two guitars</u> in his room.
2	She is Kumi.
3	You are a teacher.
4	I was in Nagoya yesterday.
5	I was happy.

第2講座「一般動詞」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



英語のルール

英語は(1 主語 + 動詞)の順でできている

「主語」とは(2 ~は・~が)で始まる言葉で、(3 文の初め)にあることが多い。

「動詞」とは「動作」・「状態」を表す言葉で、1つの文に必ず1つないといけない。

日本語を見て、動詞が(4 ない)場合には「be動詞」(5 am・is・are)を使う

例題 次の文の主語と動詞を日本語で答えなさい。

1	私は公園で走ります。	主語は(私は) 動詞は(走る)
2	ケンチャーハンを作ります。	主語は(ケンは) 動詞は(作る)
3	私は太郎です。	主語は(私は) 動詞は(×)

例文 「私はサッカーをします」

主語「私は」+ 動詞「する」+ 「サッカー」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「する」	play	動詞「play」があるので、「be動詞」は不要
3	名詞「サッカー」	soccer	

よって(I play soccer.)となる

例文 「彼はギターを弾きます」

主語「彼は」+ 動詞「演奏する」+ 「ギター」に分けると

1	主語「彼は」	he	
2	動詞「演奏する」	plays	動詞「play」があるので、「be動詞」は不要 *主語は「he」なので、「play」を「play s 」に変える
3	名詞「ギター」	the guitar	

よって(He plays the guitar.)となる

例文 「彼は昨日テレビを見ました」

主語「彼は」+ 動詞「見た」+ 「テレビ」+ 「昨日」に分けると

1	主語「彼は」	he	
2	動詞「見た」	watched	動詞「watch」があるので「be 動詞」は不要 *「見た」(過去形) 「watch」を「watched」にかえる
3	「テレビ」	TV	
4	「昨日」	yesterday	

よって (He watched TV yesterday.) となる

例文 「エミは先週図書館に行きました」

主語「エミは」+ 動詞「行った」+ 「図書館に」+ 「先週」に分けると

1	主語「エミは」	Emi	
2	動詞「行った」	went	動詞「went」があるので、「be 動詞」は不要 *「行った」(過去形) 「go」を「went」にかえる
3	「図書館に」	to the library	
4	「先週」	last week	

よって (Emi went to the library last week.) となる

例文 「ケンは今日幸せでした。」

主語「ケン」+ 動詞「be 動詞」+ 形容詞「幸せである」+ 「今日」に分けると

1	主語「ケン」	Ken	
2	動詞「be 動詞」	was	動詞はないので be 動詞を使う
3	形容詞「幸せである」	happy	
4	「今日」	today	

よって (Ken was happy today.) となる

第 2 講座 暗記例文

1

1	私は英語を勉強します。(3) 主語「私は」+動詞「勉強する」+「英語」
2	彼はサッカーをします。(3) 主語「彼は」+動詞「する」+「サッカー」
3	あなたはピアノを弾きます。(4) 主語「あなたは」+動詞「演奏する」+「ギター」
4	彼女は名古屋に住んでいます。(4) 主語「彼女は」+動詞「住む」+「名古屋に」
5	太郎はテニスが好きです。(3) 主語「太郎は」+動詞「好きである」+「テニス」

2

1	彼女はピアノを弾きました。(4) 主語「彼女は」+動詞「演奏した」+「ピアノ」
2	私は昨日公園に行きました。(6) 主語「私は」+動詞「行った」+「公園に」+「昨日」
3	彼らは先週野球をしました。(5) 主語「彼らは」+動詞「した」+「野球」+「先週」
4	彼は日本語を話します。(3) 主語「彼は」+動詞「話す」+「日本語」
5	私は昨日 1 冊の本を買いました。(5) 主語「私は」+動詞「買った」+「一冊の本」+「昨日」

3

1	彼女は車を運転します。(4) 主語「彼女は」+動詞「運転する」+「一台の車」
2	私は昨日テレビを見ました。(4) 主語「私は」+動詞「見た」+「テレビ」+「昨日」
3	あなたは彼を知っています。(3) 主語「あなたは」+動詞「知っている」+「彼を」
4	彼は本を読みます。(3) 主語「彼は」+動詞「読む」+「本」
5	あなたは昨日エミに会いました。(4) 主語「あなたは」+動詞「会った」+「エミに」+「昨日」

第 2 講座 暗記例文

1

1	I study English.
2	He plays soccer.
3	You play the piano.
4	She lives in Nagoya.
5	Taro likes tennis.

2

1	She played the piano.
2	I went to the park yesterday.
3	They played baseball last week.
4	He speaks Japanese.
5	I bought a book yesterday.

3

1	She drives a car.
2	I watched TV yesterday.
3	You know him.
4	He reads books.
5	You met Emi yesterday.

第3講座「一般動詞」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



例文 「あなたは車が欲しいですか？」

ア まずは肯定文「あなたは車が欲しいです」で考えると
主語「あなたは」+ 動詞「欲しい」+ 「一台の車」に分けると

1	主語「あなたは」	You	
2	動詞「欲しい」	want	
3	「一台の車」	a car	

よって (You want a car.) となる

イ 一般動詞の疑問文 「Do」を主語の前に出す
よって (Do you want a car?) となる

例文 「エミは大阪に住んでいますか？」

ア まずは肯定文「エミは大阪に住んでいる」で考えると
主語「エミは」+ 動詞「住んでいる」+ 「大阪に」に分けると

1	主語「エミは」	Emi	
2	動詞「住んでいる」	lives	主語が「Emi」なので「live」の後に「s」をつける
3	「大阪に」	in Osaka	

よって (Emi lives in Osaka.) となる

イ 一般動詞の疑問文 「Does」を主語の前に出す + 動詞を元の形にもどす
よって (Does Emi live in Osaka?) となる

例文 「ユミは昨日ピアノを弾きましたか？」

ア まずは肯定文「ユミは昨日ピアノを弾きました」で考えると
主語「ユミは」+ 動詞「演奏した」+ 「ピアノ」+ 「昨日」に分けると

1	主語「ユミは」	Yumi	
2	動詞「演奏した」	played	「演奏した」(過去形) 動詞「play」を「played」に変える
3	「ピアノ」	the piano	
4	「昨日」	yesterday	

よって(Yumi played the piano yesterday.)となる

イ 一般動詞の疑問文(過去形) 「Did」を主語の前に出す+動詞を元の形にもどす
よって(Did Yumi play the piano yesterday?)となる

例文 「あなたはサッカーをしません。」

ア まずは肯定文「あなたはサッカーをします」で考えると
主語「あなたは」+ 動詞「する」+ 「サッカー」に分けると

1	主語「あなたは」	You	
2	動詞「する」	play	
3	「サッカー」	soccer	

よって(You play soccer.)となる

イ 一般動詞の否定文 動詞(play)の前にdon'tを置く
よって(You don't play soccer.)となる

例文 「彼は京都を訪れません。」

ア まずは肯定文「彼は京都を訪れます」で考えると
主語「彼は」+ 動詞「訪れる」+ 「京都」に分けると

1	主語「彼は」	he	
2	動詞「訪れる」	visits	主語が「彼は」 動詞「visit」の後に「s」をつける
3	「京都」	Kyoto	

よって(He visits Kyoto.)となる

イ 一般動詞の否定文 動詞の前に doesn't を置く + 動詞 (visits) を元の形(visit)にもどす
よって(He doesn't visit Kyoto.)となる

例文 「ケンは昨日英語を勉強しなかった」

ア まずは肯定文「ケンは昨日英語を勉強した」で考えると
主語「ケン」+ 動詞「勉強する」+ 「英語」+ 「昨日」に分けると

1	主語「ケン」	Ken	
2	動詞「勉強した」	studied	「勉強した」(過去形) 動詞「study」を「studied」に変える
3	「英語」	English	
4	「昨日」	yesterday	

よって(Ken studied English yesterday.)となる

イ 一般動詞の否定文 動詞の前に didn't を置く + 動詞(studied)を元の形(study)にもどす
よって(Ken didn't study English yesterday.)となる

第3講座 暗記例文

1

1	あなたはサッカーをしますか？(4) 肯定文は「You play soccer.」 疑問文は「Do」を先頭に置く
2	あなたは忙しいですか？(3) 肯定文は「You are busy.」 疑問文は「be 動詞」を主語の前に出す
3	彼はテレビを見ますか？(4) 肯定文は「He watches TV.」 疑問文は「Does」を先頭に置く + 動詞を元の形に戻す
4	彼女は昨日英語の勉強をしましたか？(5) 肯定文は「She studied English yesterday.」 疑問文は「Did」を先頭に置く + 動詞を元の形に戻す
5	エミはギターを弾きますか？(5) 肯定文は「Emi plays the guitar.」 疑問文は「Does」を先頭に置く + 動詞を元の形に戻す

2

1	私は昨日数学の勉強をしませんでした。(5) 肯定文は「I studied math yesterday.」 否定文は「主語 + didn't + 動詞の元の形 ~」
2	彼女は日本語を話しません。(4) 肯定文は「She speaks Japanese.」 否定文は「主語 + doesn't + 動詞の元の形 ~」
3	あなたは昨日疲れていませんでした。(4) 肯定文は「You were tired yesterday.」 否定文は「主語 + weren't ~」
4	私はテニスが好きではありません。(4) 肯定文は「I like tennis.」 否定文は「主語 + don't + 動詞 ~」
5	太郎は先週図書館に行きませんでした。(8) 肯定文は「Taro went to the library last week.」 否定文は「主語 + didn't + 動詞の元の形 ~」

3

1	彼は夕食を食べませんでした。(4) 肯定文は「He ate(eatの過去形) dinner.」 否定文は「主語 + didn't + 動詞の元の形 ~」
2	あなたはギターを弾きますか？(5) 肯定文は「You play the guitar.」 疑問文は Does を先頭に置く + 動詞を元の形に戻す
3	彼女は公園を走りましたか？(6) 肯定文は「She ran(runの過去形) in the park.」 疑問文は Did を先頭に置く + 動詞を元の形に戻す
4	彼女はテニスをしません。(4) 肯定文は「She plays tennis.」 否定文は「主語 + doesn't + 動詞の元の形 ~」
5	あなたは先週忙しかったですか？(5) 肯定文は「You were busy last week.」 疑問文は「be 動詞 + 主語 ~ ?」の順

第 3 講座 暗記例文

1

1	Do you play soccer?
2	Are you busy?
3	Does he watch TV?
4	Did she study English yesterday?
5	Does Emi play the guitar?

2

1	I didn't study math yesterday.
2	She doesn't speak Japanese.
3	You weren't tired yesterday.
4	I don't like tennis.
5	Taro didn't go to the library last week.

3

1	He didn't eat dinner.
2	Do you play the guitar?
3	Did she run in the park?
4	She doesn't play tennis.
5	Were you busy last week?

第4講座 「疑問文」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



疑問文の作り方

be 動詞の疑問文の作り方 be 動詞 + 主語 ~ ?
一般動詞の疑問文の作り方 Do・Does[主語が三人称単数]・Did[過去形] + 主語 + 動詞の元の形(原形) ~ ?
疑問詞[when, where, who, why, what など]を含む疑問文の作り方 疑問詞 + be 動詞 + 主語 ~ ? / 疑問詞 + do・does・did + 主語 + 動詞の元の形(原形) ~ ?

例文 「エミは大阪に住んでいますか？」

ア まずは肯定文「エミは大阪に住んでいる」で考えると
主語「エミは」 + 動詞「住んでいる」 + 「大阪に」に分けると

1	主語「エミは」	Emi	
2	動詞「住んでいる」	lives	主語が「Emi」 動詞「live」の後に「s」をつける
3	「大阪に」	in Osaka	

よって (**Emi lives in Osaka.**) となる

イ 一般動詞の疑問文(三人称単数) 「Does」を主語の前に出す + 動詞を元の形にもどす
よって (**Does Emi live in Osaka?**) となる

例文 「あなたは昨日忙しかったですか？」

ア まずは肯定文「あなたは昨日忙しかった」で考えると
主語「あなたは」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「忙しい」 + 「昨日」に分けると

1	主語 「あなたは」	You	
2	動詞 「be 動詞」	were	
3	形容詞 「忙しい」	busy	
4	「昨日」	yesterday	

よって (**You were busy yesterday.**) となる

イ be 動詞の疑問文(過去形) 「be 動詞」を主語の前に出す
よって (**Were you busy yesterday?**) となる

例文 「ユミはいつピアノを弾きましたか？」

ア まずは肯定文「ユミはピアノを弾きました」で考えると
主語「ユミは」+ 動詞「演奏した」+ 「ピアノ」に分けると

1	主語「ユミは」	Yumi	
2	動詞「演奏した」	played	「演奏した」(過去形) 動詞「play」の後に「ed」をつける
3	「ピアノ」	the piano	

よって(Yumi played the piano.)となる

イ 一般動詞の疑問文(過去形) 「Did」を主語の前に出す + 動詞を元の形にもどす
よって(Did Yumi play the piano?)となる

ウ 疑問詞「いつ (when)」 文の先頭に置く
よって(When did Yumi play the piano?)となる

例文 「太郎はどこでサッカーをしますか？」

ア まずは肯定文「太郎はサッカーをします」で考えると
主語「太郎は」+ 動詞「する」+ 「サッカー」に分けると

1	主語「太郎は」	Taro	
2	動詞「する」	plays	主語が「Taro」 動詞「play」の後に「s」をつける
3	「サッカー」	soccer	

よって(Taro plays soccer.)となる

イ 一般動詞の疑問文(三人称単数) 「Does」を主語の前に出す + 動詞を元の形にもどす
よって(Does Taro play soccer?)となる

ウ 疑問詞「どこで (where)」 文の先頭に置く
よって(Where does Taro play soccer?)となる

第4講座 暗記例文

1

1	あなたは先週暇でしたか？（5） 「be 動詞」+主語「あなたは」+形容詞「暇」+「先週」
2	ケンは何処を訪れましたか？（4） 「Did」+主語「ケン」+動詞「訪れる」+「京都」
3	彼はいつ図書館に行きますか？（7） 疑問詞「いつ」+「does」+主語「彼は」+動詞「行く」+「図書館」
4	あなたはギターを弾きますか。（5） 「Do」+主語「ユミは」+動詞「演奏する」+「ギター」
5	これは何ですか？（3） 疑問詞「何」+「be 動詞」+主語「これは」

2

1	エミは昨日テレビを見ましたか？（5） 「Did」+主語「エミは」+動詞「見る」+「テレビ」+「昨日」
2	あなたは何匹の犬を飼っていますか？（6） 疑問詞「何匹の犬（複数形）」+do+主語「あなたは」+動詞「飼う」
3	彼女は大阪で働いていますか？（5） 「Does」+主語「彼女は」+動詞「働く」+「大阪で」
4	あなたは昨日忙しかったですか？ 「be 動詞」+主語「あなたは」+形容詞「忙しい」+「昨日」
5	あなたは昼食に何を食べますか？（6） 疑問詞「何」+do+主語「あなたは」+動詞「食べる」+「昼食に」

3

1	彼女はサッカーをしましたか？（4） 「Did」+主語「彼女は」+動詞「する」+「サッカー」
2	ケンはどこに住んでいますか？（4） 疑問詞「どこ」+「does」+主語「ケンは」+動詞「住む」
3	太郎は先生ですか？（4） 「be 動詞」+主語「太郎は」+「先生」
4	彼は英語を勉強しますか？（4） 「Does」+主語「彼は」+動詞「勉強する」+「英語」
5	あの女性は誰ですか？（4） 疑問詞「誰」+be 動詞+主語「あの女性は」

第 4 講座 暗記例文

1

1	Were you free last week?
2	Did Ken visit Kyoto?
3	When does he go to the library?
4	Do you play the guitar?
5	What is this?

2

1	Did Emi watch TV yesterday?
2	How many dogs do you have?
3	Does she work in Osaka?
4	Were you busy yesterday?
5	What do you have for lunch?

3

1	Did she play soccer?
2	Where does Ken live?
3	Is Taro a teacher?
4	Does he study English?
5	Who is that woman?

第5講座「不定詞・動名詞」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



不定詞・動名詞の考え方

- 不定詞 (**to + 動詞の原形**) で様々な使い方を
副詞的用法 文 + 「目的・原因」
名詞的用法 文中で主語・補語の役割をする
形容詞的用法 名詞を後ろから説明する

- 動名詞 (**動詞 + ~ing形**) で「~すること」(名詞)になる
(**enjoy**)・(**stop**)・(**finish**) の後ろは必ず動名詞になる
I like **playing** tennis. I enjoyed **playing** tennis.
I like **to play** tennis. × I enjoyed **to play** tennis.

例文 「私はサッカーをするために公園に行きました」

主語「私は」+ 動詞「行った」+ 「公園に」+ 不定詞「サッカーをするために」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「行った」	went	
3	「公園に」	to the park	
4	不定詞「サッカーをするために」	to play soccer	

よって (**I went to the park to play soccer.**) となる

例文 「私は英語を勉強したいです」

主語「私は」+ 動詞「勉強したい」+ 「英語」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「勉強したい」	want to study	「want to + 動詞の原形」で「~したい」
3	「英語」	English	

よって (**I want to study English.**) となる

例文 「私はすべき宿題がたくさんあります」

主語「私は」+ 動詞「持っている」+ 名詞「たくさんの宿題」+ 不定詞「するための」に分けると

1	主語 「私は」	I	
2	動詞 「持っている」	have	
3	名詞 「たくさんの宿題」	a lot of homework	
4	不定詞 「するための」	to do	名詞「たくさんの宿題」を後ろから修飾する

よって (I have a lot of homework to do.) となる

例文 「ケンは昨日サッカーをして楽しみました」

主語「ケン」+ 動詞「楽しんだ」+ 動名詞「サッカーをすること」+ 「昨日」に分けると

1	主語「ケン」	Ken	
2	動詞「楽しんだ」	enjoyed	
3	動名詞「サッカーをすること」	playing soccer	
4	「昨日」	yesterday	

よって (Ken enjoyed playing soccer yesterday.) となる

第5講座 暗記例文

1

1	彼女はテニスをするために公園に行きました。(8) 主語「彼女は」+動詞「行った」+「公園に」+不定詞「テニスをするために」
2	エミはコンピューターを使いたいです。(6) 主語「エミは」+動詞「使いたい」+「一台のコンピューター」
3	ケンは何語を勉強するために図書館に行きました。(8) 主語「ケン」+動詞「行った」+「図書館に」+不定詞「英語を勉強するために」
4	私は音楽を聞くことを楽しみました。(5) 主語「私は」+動詞「楽しんだ」+動名詞「音楽を聞くことを」
5	私はテニスがしたいです。(5) 主語「私は」+動詞「したい」+「テニス」

2

1	私はあなたに見せるための写真がたくさんあります。(7) 主語「私は」+動詞「持っている」+名詞「たくさんの写真」+不定詞「あなたに見せるための」
2	私はこの本を買いたいです。(6) 主語「私は」+動詞「買いたい」+「この本」
3	彼はゲームをするためにコンピューターを使います。(7) 主語「彼は」+動詞「使う」+「コンピューター」+不定詞「ゲームをするために」
4	私には読むべき本がたくさんあります。(6) 主語「私は」+動詞「持っている」+名詞「たくさんの本」+不定詞「読むための」
5	ケンは宿題をすることを終わりました。(5) 主語「ケンは」+動詞「終わりました」+動名詞「宿題をすることを」

3

1	私は先生になりたいです。(6) 主語「私は」+動詞「になりたい」+「先生」
2	彼は学校に行くために自転車を使います。(8) 主語「彼は」+動詞「使う」+「自転車」+不定詞「学校に行くために」
3	私たちはすべきことがたくさんあります。(6) 主語「私たちは」+動詞「持っている」+名詞「たくさんなこと」+不定詞「するための」
4	彼は手紙を書くために図書館に行きました。(9) 主語「彼は」+動詞「行った」+「図書館に」+不定詞「手紙を書くために」
5	英語を勉強することは大切です。(5)と(4) 主語「英語を勉強することは」+動詞「be 動詞」+形容詞「大切だ」

第 5 講座 暗記例文

1

1	She went to the park to play tennis.
2	Emi wants to use a computer.
3	Ken went to the library to study English.
4	I enjoyed listening to music.
5	I want to play tennis.

2

1	I have <u>many pictures</u> to show you.
2	I want to buy this book.
3	He uses a computer to play games.
4	I have <u>many books</u> to read.
5	Ken finished doing his homework.

3

1	I want to be a teacher.
2	He uses a bike to go to school.
3	We have <u>many things</u> to do.
4	He went to the library to write a letter.
5	To study English is important. / Studying English is important.

第6講座「分詞」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



分詞の考え方：名詞を（ 後ろ ）から修飾する

現在分詞：動詞のing形で（ ~している ）

過去分詞：動詞の過去分詞形で（ ~された ）

例文 「私はギターを弾いている少女を知っています」

主語「私は」+ 動詞「知っている」+ 名詞「少女」+ 現在分詞「ギターを弾いている」に分けると

1	主語 「私は」	I	
2	動詞 「知っている」	know	
3	名詞 「少女」	the girl	
	現在分詞「ギターを弾いている」	playing the guitar	名詞「the girl」を後ろから修飾する

よって（ I know the girl playing the guitar. ）となる

例文 「海で泳いでいる少年はケンです」

主語（名詞）「少年は」+ 現在分詞「海で泳いでいる」+ 動詞「be動詞」+ 「ケン」に分けると

1	主語 「少年は」	the boy	
2	現在分詞「海で泳いでいる」	swimming in the sea	名詞「the boy」を後ろから修飾する
3	動詞 「be動詞」	is	
	「ケン」	Ken	

よって（ The boy swimming in the sea is Ken. ）となる

例文 「私は中国で作られた車を持っています」

主語「私は」+ 動詞「持っている」+ 名詞「車」+ 過去分詞「中国で作られた」に分けると

1	主語 「私は」	I	
2	動詞 「持っている」	have	
3	名詞 「車」	a car	
4	過去分詞「中国で作られた」	made in China	名詞「a car」を後ろから修飾する

よって (I have a car made in China.) となる

例文 「漱石によって書かれた本は面白いです」

主語(名詞)「本は」+ 過去分詞「漱石によって書かれた」+ 動詞「be 動詞」+ 形容詞「面白い」に分けると

1	主語 「本は」	the book	
2	過去分詞「漱石によって書かれた」	written by Soseki	名詞「the book」を後ろから修飾する
3	動詞 「be 動詞」	is	
	形容詞 「面白い」	interesting	

よって (The book written by Soseki is interesting.) となる

第6講座 暗記例文

1

1	私は東京に住んでいる兄がいます。(7) 主語「私は」+動詞「持っている」+名詞「兄」+現在分詞「東京に住んでいる」
2	海で泳いでいる女性はユミです。(8) 主語(名詞)「女性は」+現在分詞「海で泳いでいる」+動詞「be 動詞」+「ユミ」
3	ケンと話している少年は太郎です。(7) 主語(名詞)「少年は」+現在分詞「ケンと話している」+動詞「be 動詞」+「太郎」
4	ピアノを弾いている少女はエミです。(7) 主語(名詞)「少女は」+現在分詞「ピアノを弾いている」+動詞「be 動詞」+「エミ」
5	私は本を読んでいる男性を知っています。(7) 主語「私は」+動詞「知っている」+名詞「男性」+現在分詞「本を読んでいる」

2

1	京都は多くの学生によって訪れられる町です。(8) 主語「京都は」+動詞「be 動詞」+名詞「町」+過去分詞「多くの学生によって訪れられる」
2	これは多くの人によって愛される歌です。(8) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+名詞「歌」+過去分詞「多くの人によって愛される」
3	これは50年前に書かれた本です。(8) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+名詞「本」+過去分詞「50年前に書かれた」
4	彼によって書かれた本は面白いです。(7) 主語(名詞)「本は」+過去分詞「彼によって書かれた」+動詞「be 動詞」+「面白い」
5	私の父はアメリカで作られたカメラを持っています。(8) 主語「私の父は」+動詞「持っている」+名詞「カメラ」+過去分詞「アメリカで作られた」

3

1	私は木の下で座っている女性を知りません。(9) 主語「私は」+動詞「知らない」+名詞「女性」+現在分詞「木の下で座っている」
2	これは彼によって読まれた本です。(7) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+名詞「本」+過去分詞「彼によって読まれた」
3	公園で走っている女性を見なさい。(8) 動詞「見る」+名詞「女性」+現在分詞「公園で走っている」 *命令文なので主語は不要
4	ユミはフランスで作られたかばんを持っています。(7) 主語「ユミは」+動詞「持っている」+名詞「かばん」+過去分詞「フランスで作られた」
5	私は写真を撮っている少年を知っています。(6) 主語「私は」+動詞「知っている」+名詞「少年」+現在分詞「写真を撮っている」

第 6 講座 暗記例文

1

1	I have <u>a brother</u> living in Tokyo.
2	<u>The woman</u> swimming in the sea is Yumi.
3	<u>The boy</u> talking with Ken is Taro.
4	<u>The girl</u> playing the piano is Emi.
5	I know <u>the man</u> reading a book.

2

1	Kyoto is <u>the city</u> visited by many students.
2	This is <u>the song</u> loved by many people.
3	This is <u>the book</u> written fifty years ago.
4	<u>The book</u> written by him is interesting.
5	My father has <u>a camera</u> made in America.

3

1	I don't know <u>the woman</u> sitting under the tree.
2	This is <u>a book</u> read by him.
3	Look at <u>the woman</u> running in the park.
4	Yumi has <u>a bag</u> made in France.
5	I know <u>the boy</u> taking pictures.

第7講座「進行形・受け身」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



進行形・受け身の考え方

進行形 (~している・~していた) 「主語 + be 動詞 + 動詞の ing 形 ~」

受け身 (~された) 「主語 + be 動詞 + 過去分詞 ~」

例 They like Mr. Sato. 「彼らは佐藤先生が好きです。」

Mr.Sato is liked by them. 「佐藤先生は彼らに好かれています。」

例文 「私は今英語を勉強しています」

主語「私は」 + 動詞「勉強している」 + 「英語」 + 「今」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「勉強している」	am studying	現在進行形「~している」は「be 動詞 + 動詞の ing 形」
3	「英語」	English	
4	「今」	now	

よって (I am studying English now.) となる

例文 「ケンはそのときテレビを見ていました」

主語「ケン」 + 動詞「見ていた」 + 「テレビ」 + 「そのとき」に分けると

1	主語「ケン」	Ken	
2	動詞「見ていた」	was watching	過去進行形「~していた」は「be 動詞 + 動詞の ing 形」
3	「テレビ」	TV	
	「そのとき」	then	

よって (Ken was watching TV then.) となる

例文 「佐藤先生はみんなに好かれています」

主語「佐藤先生は」+ 動詞「好かれる」+ 人「みんなに」に分けると

1	主語「佐藤先生は」	Mr.Sato	
2	動詞「好かれる」	is liked	受け身「好かれる」は「be 動詞+過去分詞」の形で表す
3	人「みんなに」	by everyone	「by+人」で「人によって」

よって (Mr.Sato is liked by everyone.) となる

例文 「この車はアメリカで作られました」

主語「この車は」+ 動詞「作られた」+ 場所「アメリカで」に分けると

1	主語「この車は」	this car	
2	動詞「作られた」	was made	受け身「作られた」は「be 動詞+過去分詞」の形で表す
3	場所「アメリカで」	in America	「in+場所」で「場所で」

よって (This car was made in America.) となる

第7講座 暗記例文

1

1	私は今テレビを見ています。(5) 主語「私は」+動詞「見ている」+「テレビ」+「今」
2	太郎はそのとき本を読んでいた。(6) 主語「太郎は」+動詞「読んでいた」+「一冊の本」+「そのとき」
3	ケンは今英語を勉強しています。(5) 主語「ケンは」+動詞「勉強している」+「英語」+「今」
4	ユミは今テニスをしています。(5) 主語「ユミは」+動詞「している」+「テニス」+「今」
5	彼はそのとき音楽を聞いていました。(6) 主語「彼は」+動詞「聞いていた」+「音楽」+「そのとき」

2

1	このカメラは多くの人によって使われています。(7) 主語「このカメラは」+動詞「使われている」+人「多くの人によって」
2	この車はアメリカで作られました。(6) 主語「この車は」+動詞「作られた」+場所「アメリカで」
3	この手紙は英語で書かれています。(6) 主語「この手紙は」+動詞「書かれている」+「英語で」
4	このコンピューターは父によって使われます。(7) 主語「このコンピューターは」+動詞「使われる」+人「私の父によって」
5	この本は子供たちによって読まれています。(6) 主語「この本は」+動詞「読まれる」+人「子どもたちによって」

3

1	太郎は多くの人によって好かれています。(6) 主語「太郎は」+動詞「好かれる」+人「多くの人によって」
2	英語はアメリカで話されます。(5) 主語「英語は」+動詞「話される」+場所「アメリカで」
3	私はそのときサッカーをしていました。(5) 主語「私は」+動詞「していた」+「サッカー」+「そのとき」
4	彼は今夕食を作っています。(5) 主語「彼は」+動詞「作っている」+「夕食」+「今」
5	このCDは多くの人によって買われました。(7) 主語「このCDは」+動詞「買われた」+人「多くの人によって」

第 7 講座 暗記例文

1

1	I am watching TV now.
2	Taro was reading a book then.
3	Ken is studying English now.
4	Yumi is playing tennis now.
5	He was listening to music then.

2

1	This camera is used by many people.
2	This car was made in America.
3	This letter is written in English.
4	This computer is used by my father.
5	This book is read by children.

3

1	Taro is liked by many people.
2	English is spoken in America.
3	I was playing soccer then.
4	He is making dinner now.
5	This CD was bought by many people.

第8講座 「比較」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



比較の考え方

比較級（一対一で比べる）

「A + 形容詞・副詞の語尾に (**er**) + than + B」で「AはBよりも～だ」

最上級（集団の中で一番）

「A + (**the**)・形容詞・副詞の語尾に (**est**) + of 複数形[in 単数形]」で「Aは～の中で一番～だ」

原級

「A + as 形容詞（副詞）as + B」で (**AはBと同じぐらい～だ**)

「A + not as 形容詞（副詞）as + B」で (**AはBほど～だ**)

例文 「私はケンよりも背が高い」

主語「私は」 + 動詞「be動詞」 + 形容詞「背が高い」 + 「ケンよりも」に分けると

1	主語 「私は」	I	
2	動詞 「be動詞」	am	
3	形容詞「背が高い」	taller	「tall」 比較級「 taller 」になる
4	「ケンよりも」	than Ken	

よって (**I am taller than Ken.**) となる

例文 「この本はあの本よりも面白いです」

主語「この本は」 + 動詞「be動詞」 + 形容詞「面白い」 + 「あの本よりも」に分けると

1	主語 「この本は」	this book	
2	動詞 「be動詞」	is	
3	形容詞「面白い」	more interesting	「interesting」 比較級「 more interesting 」になる
4	「あの本よりも」	than that one	「that one 」は「that pen」の代わりとなる語

よって (**This book is more interesting than that one.**) となる

例文 「彼のかばんは3つの中で一番古い」

主語「彼のかばんは」+ 動詞「be 動詞」+ 形容詞「一番古い」+ 「3つの中で」に分けると

1	主語 「彼のかばんは」	his bag	
2	動詞 「be 動詞」	is	
3	形容詞 「一番古い」	the oldest	「old」 最上級「the oldest」になる
	「3つの中で」	of the three	「of + 複数 (the three)」となる

よって (His bag is the oldest of the three.) となる

例文 「彼女はクラスで一番人気があります」

主語「彼女は」+ 動詞「be 動詞」+ 形容詞「一番人気がある」+ 「彼女のクラスで」に分けると

1	主語 「彼女は」	She	
2	動詞 「be 動詞」	is	
3	形容詞 「一番人気がある」	the most popular	「popular」 最上級「the most popular」になる
	「彼女のクラスで」	in her class	「in + 単数 (her class)」となる

よって (She is the most popular in her class.) となる

例文 「私はエミと同じ年だ」

主語「私は」 + 動詞「be 動詞」 + 「同じ年」 + 「エミ」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「be 動詞」	am	
3	「同じ年」	as old as	
	「エミ」	Emi	

よって (I am as old as Emi.) となる

例文 「私はケンほど速く走れません」

主語「私は」 + 助動詞「できない」 + 動詞「走る」 + 「同じくらい速く」 + 「ケン」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	助動詞「できない」	can't	「not ~ as fast as」で「~ほど~でない」
3	動詞「走る」	run	
4	「同じくらい速く」	as fast as	
5	「ケン」	Ken	

よって (I can't run as fast as Ken.) となる

第 8 講座 暗記例文

1

1	<p>ケン太郎よりも背が高いです。(5)</p> <p>主語「ケン」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「背が高い」 + 「太郎よりも」</p>
2	<p>この映画はあの映画よりも面白いです。(8)</p> <p>主語「この映画は」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「面白い」 + 「あの映画よりも」</p>
3	<p>この川はあの川よりも長いです。(7)</p> <p>主語「この川は」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「長い」 + 「あの川よりも」</p>
4	<p>この写真はあの写真よりも美しいです。(8)</p> <p>主語「この写真は」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「美しい」 + 「あの写真よりも」</p>
5	<p>カナダは日本よりも大きいです。(5)</p> <p>主語「カナダは」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「大きい」 + 「日本よりも」</p>

2

1	<p>サッカーは世界で最も人気のあるスポーツです。(9)</p> <p>主語「サッカーは」 + 動詞「be 動詞」 + 名詞「最も人気のあるスポーツ」 + 複数「世界で」</p>
2	<p>このホテルはその町で一番大きいです。(8)</p> <p>主語「このホテルは」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「最も大きい」 + 単数「その町で」</p>
3	<p>ケンは5人の中で一番背が高いです。(7)</p> <p>主語「ケンは」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「一番背が高い」 + 複数「5人の中で」</p>
4	<p>この公園は東京で一番美しいです。(8)</p> <p>主語「この公園は」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「一番美しい」 + 単数「東京で」</p>
5	<p>トムは3人の中で一番年上です。(7)</p> <p>主語「トムは」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「一番年上」 + 複数「3人の中で」</p>

3

1	<p>彼はトムと同じくらい速く泳ぐことができます。(7)</p> <p>主語「彼は」 + 「できる」 + 動詞「泳ぐ」 + 「同じくらい速い」 + 「トム」</p>
2	<p>英語は私にとって国語よりも簡単です。(7)</p> <p>主語「英語は」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「簡単な」 + 「国語よりも」 + 「私にとって」</p>
3	<p>数学は英語と同じくらい面白いです。(6)</p> <p>主語「数学は」 + 動詞「be 動詞」 + 「同じくらい面白い」 + 「英語」</p>
4	<p>エミはあなたほど忙しくありません。(7)</p> <p>主語「エミは」 + 動詞「be 動詞」 + 「～ほど忙しくない」 + 「あなた」</p>
5	<p>この帽子は5つの中で一番新しいです。(8)</p> <p>主語「この帽子は」 + 動詞「be 動詞」 + 形容詞「一番新しい」 + 複数「5つの中で」</p>

第 8 講座 暗記例文

1

1	<u>Ken</u> is taller than <u>Taro</u> .
2	<u>This movie</u> is more interesting than <u>that one</u> .
3	<u>This river</u> is longer than <u>that one</u> .
4	<u>This picture</u> is more beautiful than <u>that one</u> .
5	<u>Canada</u> is larger than <u>Japan</u> .

2

1	<u>Soccer</u> is the most popular sport <u>in the world</u> .
2	<u>This hotel</u> is the biggest <u>in the city</u> .
3	<u>Ken</u> is the tallest <u>of the five</u> .
4	<u>This park</u> is the most beautiful <u>in Tokyo</u> .
5	<u>Tom</u> is the oldest <u>of the three</u> .

3

1	<u>He</u> can swim as fast as <u>Tom</u> .
2	<u>English</u> is easier than <u>Japanese</u> for me.
3	<u>Math</u> is as interesting as <u>English</u> .
4	<u>Emi</u> is not as busy as <u>you</u> .
5	<u>This cap</u> is the newest <u>of the five</u> .

第9講座「現在完了」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



現在完了形の考え方 (have + 過去分詞) で表す

継続 (ずっと~している)
経験 (~したことがある)
完了 (すでに・ちょうど~したところだ)

例文 「私は3年間**ずっと**京都に**住んでいます**」

主語「私は」+ 動詞「ずっと住んでいる」+ 「京都」+ 期間「3年間」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「ずっと住んでいる」	have lived	現在完了形の継続「ずっと~している」 「have + 過去完了」で表す
3	「京都」	in Kyoto	
	期間「3年間」	for three years	

よって (**I have lived in Kyoto for three years.**) となる

例文 「ケン先週から**ずっと**英語を**勉強しています**」

主語「ケンは」+ 動詞「ずっと勉強している」+ 「英語」+ 起点「先週から」に分けると

1	主語「ケンは」	Ken	
2	動詞「ずっと勉強している」	has studied	現在完了形の継続「ずっと~している」 「have + 過去完了」で表す
3	「英語」	English	
	起点「先週から」	since last week	

よって (**Ken has studied English since last week.**) となる

例文 「私はこの映画を3回見たことがあります」

主語「私は」+ 動詞「見たことがある」+ 「この映画を」+ 回数「3回」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「見たことがある」	have watched	現在完了形の経験「今まで～したことがある」 「have + 過去完了」で表す
3	「この映画を」	this movie	
	回数「3回」	three times	

よって (I have watched this movie three times.) となる

例文 「あなたは今までに大阪を訪れたことがありますか？」

「Have」+ 主語「あなたは」+ 「今までに」+ 動詞「訪れる」+ 「大阪」に分けると

1	「Have」	have	
2	主語「あなたは」	you	
3	「今までに」	ever	
4	動詞「訪れる」	visited	現在完了形の経験「今まで～したことがある」 「have + 過去完了」で表す
5	「大阪」	Osaka	

よって (Have you ever visited Osaka?) となる

例文 「私はすでに宿題を終えました」

主語「私は」+ 動詞「すでに終えた」+ 「私の宿題」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「すでに終えた」	have already finished	現在完了形の完了「すでに～した」 「have + 過去完了」で表す
3	「私の宿題」	my homework	

よって (I have already finished my homework.) となる

例文 「あなたはもう手紙を書きましたか？」

「Have」+ 主語「あなたは」+ 動詞「書いた」+ 「1枚の手紙」+ 「もう」に分けると

1	「have」	have	
2	主語「あなたは」	you	
3	動詞「書いた」	written	
4	「1枚の手紙」	a letter	
5	「もう」	yet	

よって (Have you written a letter yet?) となる

第9講座 暗記例文

1

1	私は5年間ずっと東京に住んでいます。(8) 主語「私は」+動詞「ずっと住んでいる」+「東京に」+期間「5年間」
2	私は彼女に1回電話したことがあります。(5) 主語「私は」+動詞「電話をしたことがある」+「彼女に」+回数「1回」
3	私は3年間ずっと英語を勉強しています。(7) 主語「私は」+動詞「ずっと勉強している」+「英語」+期間「3年間」
4	彼は先週からずっと新しいかばんを欲しがっています。(9) 主語「彼は」+動詞「ずっと欲しがっている」+「新しいかばん」+起点「先週から」
5	彼はこの映画を3回見たことがあります。(7) 主語「彼は」+動詞「見たことがある」+「この映画」+回数「3回」

2

1	あなたは今までにその本を読んだことがありますか?(6) 「Have」+主語「あなたは」+「今までに」+動詞「読む」+「その本」
2	彼らはちょうど昼食を食べたところです。(5) 主語「彼らは」+動詞「ちょうど食べた」+「昼食」
3	私は2回この動物を見たことがあります。(6) 主語「私は」+動詞「見たことがある」+「この動物」+回数「2回」
4	私はすでに朝食を作りました。(5) 主語「私は」+動詞「すでに作った」+「朝食」
5	あなたはもう宿題を終えましたか?(6) 「Have」+主語「あなたは」+動詞「終えた」+「あなたの宿題」+「もう」

3

1	私は先週からずっと忙しいです。(7) 主語「私は」+動詞「be 動詞」+形容詞「忙しい」+起点「先週から」
2	彼女はまだ英語の勉強をしていません。(5) 主語「彼女は」+動詞「勉強をしていない」+「英語」+「まだ」
3	あなたは今までに京都に行ったことがありますか?(6) 「Have」+主語「あなたは」+「今までに」+動詞「行ったことがある」+「京都に」
4	私は一度も中国に住んだことがありません。(6) 主語「私は」+動詞「一度も住んだことがない」+「中国に」
5	私は5年間ずっとテニスをしています。(7) 主語「私は」+動詞「ずっとしている」+「テニス」+期間「5年間」

第 9 講座 暗記例文

1

1	I have lived in Tokyo for five years.
2	I have called her once.
3	I have studied English for three years.
4	He has wanted a new bag since last week.
5	He has watched this movie three times.

2

1	Have you ever read the book?
2	They have just eaten lunch.
3	I have seen this animal twice.
4	I have already made breakfast.
5	Have you finished your homework yet?

3

1	I have been busy since last week.
2	She hasn't studied English yet.
3	Have you ever been to Kyoto?
4	I have never lived in China.
5	I have played tennis for five years.

第10講座「関係代名詞」

QRコード
【動画授業】
高校入試英語



関係代名詞の考え方 「who・which・that」を使い、名詞[先行詞]を（ 後ろ ）から説明する

主格の関係代名詞 前の名詞が「人」であれば「(who) + 動詞～」
前の名詞が「動物・物」であれば「(which) + 動詞～」

目的格の関係代名詞 前の名詞が「人」であれば「(that) + 主語 + 動詞～」
前の名詞が「動物・物」であれば「(that・which) + 主語 + 動詞～」

例文 「私はギターを弾いている少年を知っています」

主語「私は」+ 動詞「知っている」+ 名詞「少年」+ 関係代名詞「who」+ 「ギターを弾いている」に分けると

1	主語「私は」	I	
2	動詞「知っている」	know	
3	名詞「少年」	the boy	名詞「少年」+ 「who」+ 「ギターを弾いている」
4	関係代名詞「who」	who	
5	「ギターを弾いている」	is playing the guitar	「ギターを弾いている」なので進行形 (be 動詞+ 動詞 ing,形)

よって (I know the boy who is playing the guitar.) となる

例文 「これはアメリカで作られたカメラです」

主語「これは」+ 動詞「be 動詞」+ 名詞「カメラ」+ 関係代名詞「which」+ 「アメリカで作られた」に分けると

1	主語「これは」	this	
2	動詞「be 動詞」	is	
3	名詞「カメラ」	a camera	名詞「カメラ」+ 「which」+ 「アメリカで作られた」
4	関係代名詞「which」	which	
5	「アメリカで作られた」	was made in America	「作られた」なので受け身 (be 動詞+ 過去分詞)

よって (This is a camera which was made in America.) となる

例文 「彼らが昨日会った男性は太郎です」

主語(名詞)「その男性は」+ 関係代名詞「that」+ 「彼らが昨日会った」+ 動詞「be 動詞」+ 「太郎」に分けると

1	主語「その男性は」	the man	名詞「その男性は」+ 「that」+ 「彼らが昨日会った」
2	関係代名詞「that」	that	
3	「彼らが昨日 会った」	they met yesterday	
4	動詞「be 動詞」	is	
5	「太郎」	Taro	

よって(**The man that they met yesterday is Taro.**)となる

例文 「エミが先週見た映画は面白かったです」

主語(名詞)「映画は」+ 関係代名詞「that」+ 「エミが先週見た」+ 動詞「be 動詞」+ 「面白い」に分けると

1	主語「映画は」	the movie	名詞「映画は」+ 「that」+ 「エミが先週見た」
2	関係代名詞「that」	that	
3	「エミが先週 見た」	Emi watched last week	
4	動詞「be 動詞」	was	
5	「面白い」	interesting	

よって(**The movie that Emi watched last week was interesting.**)となる

第 10 講座 暗記例文

1

1	アキラはサッカーをする友達がいます。(7) 主語「アキラは」+動詞「持っている」+名詞「友達」+関係代名詞「who」+「サッカーをする」
2	彼には犬が好きな姉がいます。(7) 主語「彼は」+動詞「持っている」+名詞「姉」+関係代名詞「who」+「犬が好きである」
3	これは私たちが幸せにする映画です。(8) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+名詞「映画」+関係代名詞「which」+「私たちが幸せにさせる」
4	ケンによって使われるかばんは新しいです。(9) 主語(名詞)「かばんは」+関係代名詞「which」+「ケンによって使われる」+動詞「be 動詞」+「新しい」
5	海で泳いでいる少年はタケシです。(10) 主語(名詞)「少年は」+関係代名詞「who」+「海で泳いでいる」+動詞「be 動詞」+「タケシ」

2

1	私たちが先週会った女性は佐藤さんです。(10) 主語「女性は」+「私たちが先週会った」+動詞「be 動詞」+「佐藤さん」
2	これはユミが昨日作ったケーキです。(8) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+「ケーキ」+「ユミが昨日作った」
3	私たちが昨日見た映画は面白かったです。(8) 主語「映画は」+「私たちが昨日見た」+動詞「be 動詞」+「面白い」
4	これは父が去年建てた家です。(10) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+「家」+「私の父が去年建てた」
5	彼は私が好きな英語の先生です。(8) 主語「彼は」+動詞「be 動詞」+「英語の先生」+「私が好きである」

3

1	彼はロンドンに住む兄がいます。(8) 主語「彼は」+動詞「持っている」+「兄」+「ロンドンに住む」
2	これは私が沖縄で撮った写真です。(9) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+「写真」+「私が沖縄で撮った」
3	これは私が先週買った車です。(9) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+「車」+「私が先週買った」
4	私はギターを上手に弾くことができる少女を知っています。(10) 主語「私は」+動詞「知っている」+「少女」+「ギターを上手に弾くことができる」
5	これは大阪に行くバスです。(8) 主語「これは」+動詞「be 動詞」+「バス」+「大阪に行く」

第 10 講座 暗記例文

1

1	Akira has <u>a friend</u> who plays soccer.
2	He has <u>a sister</u> who likes dogs.
3	This is <u>a movie</u> which makes us happy.
4	<u>The bag</u> which is used by Ken is new.
5	<u>The boy</u> who is swimming in the sea is Takeshi.

2

1	<u>The woman</u> that we met last week is Ms. Sato.
2	This is <u>the cake</u> which Yumi made yesterday.
3	<u>The movie</u> which we watched yesterday was interesting.
4	This is <u>the house</u> which my father built last year.
5	He is <u>an English teacher</u> that I like.

3

1	He has <u>a brother</u> who lives in London.
2	This is <u>a picture</u> which I took in Okinawa.
3	This is <u>a car</u> which I bought last week.
4	I know <u>the girl</u> who can play the guitar well.
5	This is <u>the bus</u> which goes to Osaka.

とよはし練成塾の特徴

とよはし練成塾は小学5年生～高校生を対象にした自立学習型個別指導塾です。「自立学習」とは最近出てきた新しい指導形式です。とよはし練成塾の特徴をまとめました。

1 暗記中心の指導を行います。

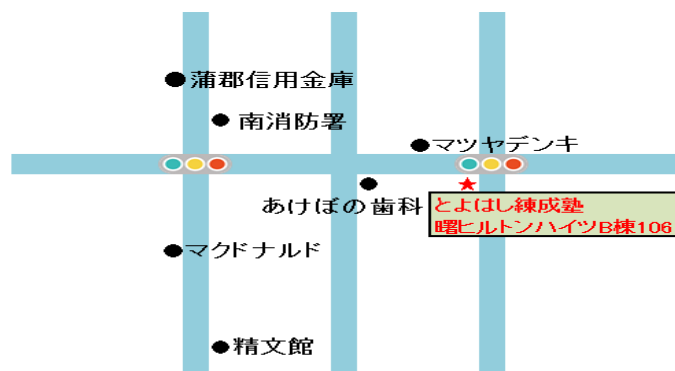
成績を上げるには、「理解」「暗記」「演習」の流れが必要です。理解も必要ですが、それ以上に暗記が必要です。頭の中に知識が十分に入っていないければ、問題を解くことができないからです。そのために当塾では暗記を主体とした指導を行います。英語は英作文や英単語、数学では基本例題の暗記を中心に指導して参ります。

2 学習管理をサポートします。

週1～2回の塾に通っているだけでは、成績を上げることはできません。家でどれだけ勉強できるかが大切になってきます。そのため当塾では、手帳を使い学習管理を行っていきます。お子様自身が学習計画を立てることで、無理のない学習を続けることができます。学校の課題はもちろんのこと、塾から与えられる課題も確実にできるようにサポートしていきます。

塾 MAP

豊橋市高師台中校区にあります



教室長の西井です。集団塾・個別指導塾に長年勤務し、多くの生徒の成績を上げてきました。宜しくお願いいたします。

営業時間 14:00～22:00

営業日 月・火・水・木・日

電話番号

(0532)-74-7739

塾 HP は	
塾 ブログは	
無料動画授業は	

